

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(公民的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7～公民的分野-13)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新しい社会 公民
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、公民の学習を進めるうえで必要な用語について『スキル・アップ』の『法律用語の読み方』に記載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、縦横の二つの軸の座標軸上に一つ一つの事項を位置付け、情報を評価する『座標軸』など、思考を整理する方法が『まとめの活動』に示されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習内容が社会の中でどのように生かされているのかを取り上げ、読み取る活動が『もっと公民』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、障がいのある人も高齢者も安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、身近な事例から考える課題が『インクルージョンについて考えよう』に設けられている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報化の課題の解決のために自分たちにできることは何かを考える活動が『現代社会の特色と私たち』の『情報化』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題について解決策を提案する、または直接まちづくりへ参加をする活動が『政治参加をしてみよう』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、事例で示された多数決が正しい決め方なのか考え、グループで話し合う活動が『みんなでチャレンジ』の『多数決について考えよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科の『地震に備えるために』と関連した『東日本大震災からの復興と防災』という題材が『もっと公民』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、小集団での参加型学習による対話的な活動として、『みんなでチャレンジ』が設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化の継承・保存に取り組む中学生の写真が『伝統文化と新たな文化の創造』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、市の課題や市民の声をもとに、ステップチャートを活用して条例案を作る活動が設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した内容を用語や写真で振り返るページが設けられている。また、小学校で扱っている資料についてはマークで示されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、掲載されている資料から情報を収集し、分析し、まとめる活動が設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、資料には見開きで通し番号がつけられ、本文と資料掲載部分が色分けされている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 『導入の活動』において、『章の学習を貫く探究課題』、探究課題の解決に向けた『探究のステップ』が示されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、『見方・考え方』が枠囲みで示されている。また、章末に見方・考え方を活用する課題が設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、経営者・客・店員の視点で、出店先を考え、意見の交流をする活動が『コンビニエンスストアの経営者になってみよう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動について、『探究課題』『学習課題』『探究のステップ』『まとめの活動』と4段階で構成されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。全6章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(公民的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7～公民的分野-13)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学社会 公民 ともに生きる
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、毎時間の課題が提示され、学習内容が本文見開きのページで示されるとともに、学習内容を振り返る課題が『確認』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、時事問題や判例も踏まえて社会問題を考える『公民の窓』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、『企業の役割』や『株式会社のしくみ』などの学習内容を生かして起業体験する活動が設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、『識字学級』や『ハンセン病』『LGBT』などの人権課題に対して行われている事業について調べる活動が設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報を入手し、活用する際の留意点や課題について読み取る資料が『メディアリテラシーを学ぼう』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会にかかわる力]の「地域貢献活動」について、『表現!』において、地域社会のために、自分には何ができるかを考え、意見交換する活動が設けられている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『私の提案「自分を変える、社会を変える」をつくろう』の作成の際の参考として『持続可能性を妨げる主な課題』が例示されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、技術・家庭科(家庭分野)の『住生活と自立』や理科の『情報化社会』と関連した『急速に進展する情報社会』という題材が設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、ディベートを用いた言語活動によるテーマ学習が特設ページ『言葉で伝え合おう』に設けられている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、有形・無形の伝統文化に関連する写真が『伝統文化の継承と文化の創造』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、裁判員に選ばれたときにどのような動きや判断をするのかについてのシミュレーションが掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、各見開きページの左下脚注部に『小学校世界の中の日本(6年)』など、関連した学習内容が表記されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報を入手し、活用する際の留意点や課題について読み取る資料が『メディアリテラシーを学ぼう』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、各章の冒頭に『学習のはじめに』を設け、章の学習内容と『学習の見通し』が示されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 章末の『学習のまとめと表現』では、章の学習内容について考えたことを意見交流する活動が設定されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、章の冒頭で示された『見方・考え方』を活用して取り組む課題にマークが付けられている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、住民のそれぞれの立場に立った意見を出し合い提案書を作成する活動が『私たちがつくるこれからの社会』で設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動について、章全体をとおしての『問い』が各章の冒頭で提示され、冒頭で提示された『問い』に対して答える活動が章の最後に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。全7章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(公民的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7~公民的分野-13)を参照。

発行者の略称	帝国	書名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、基礎・基本的な技能や学習内容に関連する実社会の動きを紹介する特設ページとして『技能をみがく』が設けられている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、事例をもとにディスカッションという話し合いの技法を用いて取り組む活動が『アクティブ公民』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習内容を生かしたり関連した取組を行ったりしている人へのインタビュー記事が『先輩たちの選択』に掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、差別のない社会の実現に向けた法制化の動きについて、『日本社会の差別の現実』に記載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、他のメディアにはない新聞の特徴が掲載されており、新聞記事から事実と意見を区別する活動が設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、民主主義における決定について事例をもとにグループで対話しながら取り組む活動が設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、身近なテーマである自分のまちについて、どのようによりよくしていくのかを考える活動が設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、小学校の理科や、地理的分野の学習と関連した『地球規模で広がる環境問題』という題材が設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、論理的な説明と合意形成を目指す議論を中心としたテーマ学習が特設ページ『アクティブ公民』に設けられている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、これまで受け継がれてきた地域の伝統芸能を演じている中学生の写真が『日本の伝統と文化』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、これまでの学習内容を盛り込むかたちで自分が起こしたい企業の企画書について作成する活動が設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、部や章の冒頭にある『学習の前に』の見開き右上に『小学校との関連』が記載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、新聞の特徴が示され、実際の新聞記事から事実と意見を区別する活動が『新聞について知ろう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、各章の冒頭に社会の様子のイラストが示され、本文に関連する資料番号や関連する事項を扱うページ番号が表記されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 各章の冒頭に『章の問い』、節ごとに『節の問い』、各見開きページに『学習の課題』が示されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2~5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、『やってみよう』で問いを示し、考える活動が『アクティブ公民』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、意見交換を行う中で、他者の見方・考え方を取り入れる活動が各章の最後の『章の学習を振り返ろう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動について、レポート作成の課題が『課題の探究』として設定されている。作成段階ごとの手順が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。全8章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪社会(公民的分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7～公民的分野-13)を参照。

発行者の略称	日文	書名	中学社会 公民的分野
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、見開きページの冒頭に、毎時間提示する学習課題とともに、『見方・考え方』が示されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、国会の意義について『見方・考え方』を働かせて取り組む活動が『国会と地位のしくみ』の『深めよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会参画を促す特設ページとして『明日に向かって 年金のしくみについて知ろう』で年金や街づくりなどのテーマが提示されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、障がいのある人も高齢者も誰もが安心して暮らすためのまちのバリアフリー化について、資料を読み取る活動が設けられている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、『情報化で変わる社会と私たち』において、『人工知能(AI)』や『ICTの社会への活用』などについて記載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、『地方自治と私たち』において、地方自治を実現させるための住民参加の仕方について考える活動が設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、様々な立場の意見をふまえて、話し合う活動が『チャレンジ公民』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、地理・歴史的分野と関連して『グローバル化による社会の変化』について考える題材が設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、社会の課題について考えるテーマ学習が、特設ページ『チャレンジ公民』に設けられている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、伝統的な年中行事や、地域文化の多様性、伝統文化を現代の社会に生かす様子などの写真が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、裁判員裁判の手順が示され、記載された証言例をもとに判決する活動が『明日に向かって』の『裁判員裁判シミュレーション』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、各編の冒頭において、左下脚注部に小学校との関連内容を振り返るように記載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報を収集し、読み取り、まとめる際に必要な知識・技能、留意点などが『統計とグラフを使いこなそう』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、学習内容が見開きで構成され、挿絵や写真などの資料に通し番号が付けられている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 各編において、冒頭に『学習の初めに』が、2～4編(章)末に『チャレンジ公民』がそれぞれ設定されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、『見方・考え方』が学習課題とともに示され、考える活動が『アクティビティ』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、『日本の議院内閣制とアメリカの大統領制』について比較する活動が『内閣のしくみと議院内閣制』の『アクティビティ』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動について、レポート作成から発表までの手順が『私たちの課題』に掲載されている。また、『もしも行き詰ってしまったら』が示されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。全5編で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(公民的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7～公民的分野-13)を参照。

発行者の略称	自由社	書名	新しい公民教科書
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、毎時間の学習内容を振り返りとして、本時の学習内容をまとめた『ここがポイント』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各新聞社の社説がどのように論じているかを読み取り、その報じ方の違いを話し合う活動が設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、行ってみたい外国を調べることを通して、現代の社会で起きている問題を考える課題が『課題の探究』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、国民の権利の平等を保障するうえでの課題として、部落差別問題や外国人参政権について『もっと知りたい』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、災害や医療の分野で活用されている『AI』や『情報セキュリティ』、『情報リテラシー』などが『情報社会』に記載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会にかかわる力]の「地域貢献活動」について、住んでいるまちのボランティア活動やサークル活動について調べる課題が設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学習内容を活用して、『企画書』を作成する活動が『アクティブに深めよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した地球環境問題の解決のために国際社会が取り組んでいることについて考える活動が『地球環境問題と国際協力』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、小集団で話し合う言語活動が、特設ページ『アクティブに深めよう』に設けられている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、世界で一番古い企業が掲載されている。また、巻末に、日本各地の伝統工芸品が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、班のメンバーと対話的な学習を通して、出店するお店の事業内容を決める体験的な活動が設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で関わっていた地域ボランティアの方を想起させる写真が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、各新聞社の記事を読み比べて、まとめる活動が『新聞を読み比べよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、各単元の重要語句はゴシック体(太字)で表記されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 各章の扉ページに章を通して考える活動が示され、毎時間の学習内容を確認する『ここがポイント!』が設定されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、資料から課題を読み取り、課題解決のために話し合う活動が『やってみよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、グローバル化による生活の変化を様々な視点から考察し、意見交換をしてまとめる活動が『アクティブに深めよう』などに設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動について、『持続可能な日本社会を作るために私たちは何ができるか』というテーマで卒業論文を作成する活動が設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。全7章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『各単元の重要語句はゴシック(太字)になっています。』『ゴシックにした重要語句は、すべてこの教科書の最後にあるさくいんに登録されています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(公民的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7～公民的分野-13)を参照。

発行者の略称	育鵬社	書名	[最新]新しいみんなの公民
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習内容を振り返る『学習のまとめ』や本時の学習に関連した『学習を深めよう』が設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、これまでの学習内容を活用して解決を図る活動が『政治のこれから』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、課題を探究し、レポートを作成する活動が『よりよい社会をめざして』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、障がい者や外国人、部落、病気に関する差別について、自分たちにできることや考えたことを交流する活動が『TRY!』として設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、『学習を深めよう』では経済発展と超高齢化社会へ解決策となりうる例として『Society5.0』について記載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地球温暖化を防止するために家庭の暮らしの中でできることを考える活動が設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学習内容を生かしながら、ライフプランを立て自分の未来について考える活動が『人生をデザインしよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した地球温暖化を防止するために、家庭でできることを考える課題が『家庭でできるCO₂排出量削減の取り組み』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、ディベートを通して、発表や議論のしかたについて学ぶ言語活動が、特設ページ『やってみよう』に設けられている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、年中行事を紹介する写真が掲載されている。また、日本人の自然観について考える活動が設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、被告人が有罪か無罪かを、検察官と弁護人の主張をもとに、グループで評議する体験的活動が設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、各章の扉ページにおいて、小学校で学習した関連内容が紹介されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、写真や地図などの資料を読み取り、話し合う活動が『身近な祭りを調べてみよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、見開きで挿絵や写真などの資料に通し番号が付けられている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 各章の導入に『入り口』が、章末には学習した見方・考え方を生かして取り組む『これから』と『学習のまとめ』が設定されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、合意を得るための話し合いの進め方を事例をもとに考える課題が『昼休みのグラウンド使用について考えよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、キャッシュレス化による消費者や事業者、公共的観点からのメリット、デメリットが『キャッシュレス社会の到来』に示されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動について、課題探究が示された『調査の手順と方法』と『整理とまとめの方法』が『社会科のまとめ』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。全5章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 編修趣意書には『図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示の工夫により、生徒が見やすいように配慮しました。』『ふりがなにはゴシック体を用い、小さな文字が読み取りにくい生徒も読みやすいように配慮しました。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《社会(公民的分野)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、公民の学習を進めるうえで必要な用語や資料の読み取り方について『スキル・アップ』の『法律用語の読み方』や『新聞でメディアリテラシーを身に付けよう』などに記載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、毎時間の課題が提示され、学習内容が本文見開きのページで示されるとともに、学習内容を振り返る課題が『確認』に設定されている。また、記述内容を補足する資料として写真やグラフなどが掲載されている。
帝国	「知識・技能」の習得について、『KJ法』や『ディスカッション』など、学習するうえで必要な基礎的な技能を体験しながら学び、学習内容に関連する実社会の動きを紹介する特設ページとして『技能をみがく』が設けられている。
日文	「知識・技能」の習得について、見開きページの冒頭に、毎時間提示する学習課題とともに、『見方・考え方』が示されている。また、統計データやグラフの読み取る際のポイントについて『情報スキルアップ』で示されている。
自由社	「知識・技能」の習得について、毎時間の学習内容をまとめた『ここがポイント』が掲載されている。また、グループでアイデアを出し合い、意見交換をしながら進めるグループ学習が『アクティブに深めよう』に設けられている。
育鵬社	「知識・技能」の習得について、各章の最後にその章で学習した語句の確認や、自己の考えを自分の言葉で説明する表現活動などで構成された『学習のまとめ』や本時の学習に関連した『学習を深めよう』が設定されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、縦横の二つの軸の座標軸上に一つ一つの事項を位置付け、情報を評価する『座標軸』など、思考を整理の方法が『まとめの活動』に示されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、時事問題や判例も踏まえて社会問題を考える『公民の窓』が掲載されている。また、資料に関して、問いかけたり、活動を促す『Q』が設定されている。
帝国	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、『赤字バス路線に税金を使うべきか?』という事例で効率と公正について、ディスカッションという話し合いの技法を用いて取り組む活動が『アクティブ公民』に設定されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、なぜ、日本の国会が二院制を採用し、衆議院の優越があるのか、『効率』と『公正』の観点から考え、国会の意義について『見方・考え方』を働かせて取り組む活動が『国会と地位のしくみ』の『深めよう』に設定されている。
自由社	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、同じ内容の社説を各新聞社でどのように論じているかを読み取り、その報じ方の違いを話し合う活動が『アクティブに深めよう』に設定されている。
育鵬社	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、これまでの学習内容と『KJ法』や『ランキングシート』などの考えるための技法を活用して解決を図る活動が『政治のこれから』に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習内容が社会の中でどのように生かされているのかを取り上げ、読み取る活動が『もっと公民』の『新しい情報技術で社会が変わる』に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、『企業の役割』や『株式会社のしくみ』などの学習内容を生かして起業体験する活動が、『言葉で伝え合おう』の『起業にチャレンジ』に設定されている。
帝国	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習内容を実社会で生かしたり関連した取組を行ったりしているジャーナリストや牧場経営者などへのインタビュー記事が『先輩たちの選択』に掲載されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、図や写真、イラストを活用して、社会保障制度のしくみを説明する『明日に向かって 年金のしくみについて知ろう』やまちづくりに参加している中学生の活動の様子を紹介する『まちづくりに参加しよう』などが掲載されている。
自由社	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、行ってみたい外国を調べることを通して、現代の社会で起きている問題について考え、まとめる『レポートと卒業論文をつくろう』という課題が『課題の探究』に設定されている。
育鵬社	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、これまでに学習したことを活用し、現代社会の課題についての自分の思いやできることを探究し、レポートを作成する活動が『よりよい社会をめざして』に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、障がいのある人も高齢者も安心して暮らせる共生社会の実現に向けて身近な事例から考える課題が『みんなでチャレンジ』の『インクルージョンについて考えよう』に設けられている。
教出	[思いやる力]の「共生」について、『識字学級』や『ハンセン病』『LGBT』などを取り上げ、それぞれの人権課題に対して行われている事業について新聞やインターネットで調べる活動が『読んで深く考えよう』に設定されている。
帝国	[思いやる力]の「共生」について、写真や枠囲みの記事と併せて『アイヌ施策推進法』や『障害者差別解消法』などについて差別のない社会の実現に向けた法制化の動きについて、『日本社会の差別の現実』に記載されている。
日文	[思いやる力]の「共生」について、障がいのある人も高齢者も誰もが安心して暮らすためのまちのバリアフリー化について、資料を読み取る活動が『明日に向かって』の『まちのバリアフリーを探そう』に設けられている。
自由社	[思いやる力]の「共生」について、国民の権利の平等を保障するうえでの課題として部落差別問題や外国人参政権について『もっと知りたい』の『権利の平等に関する問題』に掲載されている。
育鵬社	[思いやる力]の「共生」について、『在日外国人』や『部落』、『アイヌ』『ハンセン病』などに関する差別について、自分たちにできることや考えたことを交流する活動が『学習を深めよう』の『ともに生きるためにできること』において『TRY!』として設定されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、『人工知能』や『情報化による社会の変化』とともに、『情報化の課題』についての記載があり、解決のためにできることを考える活動が『現代社会の特色と私たち』の『情報化』に設定されている。
教出	[たくましく生きる力]の「情報化」について、『メディアが報じる「事実」は「真実」か』や『ソーシャルメディアの影響力』など、情報を入手し、活用する際の留意点や課題について読み取る資料が、『メディアリテラシーを学ぼう』に掲載されている。
帝国	[たくましく生きる力]の「情報化」について、『技術のみがく』の『新聞について知ろう』において、他のメディアにはない新聞の特徴が掲載されており、新聞記事から事実と意見を区別する活動が設定されている。
日文	[たくましく生きる力]の「情報化」について、『情報化で変わる社会と私たち』において、『人工知能(AI)』や『情報リテラシー』、『情報モラル』、『ICTの社会への活用』などについて記載されている。
自由社	[たくましく生きる力]の「情報化」について、『情報社会』において、災害や医療、コミュニケーションの分野で活用される『AI』や『情報セキュリティ』、『情報リテラシー』などについて記載されている。また、『クラウドの仕組み』についての図が示されている。
育鵬社	[たくましく生きる力]の「情報化」について、『学習を深めよう』に『日本が直面する社会課題』として超高齢化社会について記載されている。また、その対応として『Society5.0』による社会課題の解決について記載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、身近な地域の課題について解決を図り、意思決定した解決策を提案する、または直接まちづくりへ参加する活動が『みんなでチャレンジ』の『政治参加をしてみよう』に設定されている。
教出	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、『誰もが暮らしやすい社会をつくるために、どうしたらよいか』という問いが設定され、『表現!』で、地域社会のために、自分にできることを考え、意見交換する活動が『暮らしやすいまちづくりへ』に設けられている。
帝国	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、民主主義における決定について事例をもとにグループで対話しながら取り組む活動が、『アクティブ公民』の『みんなが決めるとはどういうこと?』に設定されている。
日文	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、『地方自治と私たち』において、『地域づくりにおける住民の役割』と『NPOやボランティアとの協働』について記載され、地方自治を実現させるための住民参加の仕方について考える活動が『確認』に設定されている。
自由社	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、『私たちと地域社会』において、地域社会とかかわり方について問いが設定され、住んでいるまちのボランティア活動やサークル活動について調べ、自分が取り組みたい活動を考える内容が『やってみよう』に設定されている。
育鵬社	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、環境問題の原因や取組を考える活動が設定され、地球温暖化を防止するために家庭の暮らしの中でできることを考える活動が『やってみよう』の『家庭でできるCO ₂ 排出量削減の取り組み』に設定されている。

3 内容と構成

○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、事例に示された多数決という決め方について、正しい決め方かどうかを『効率』と『公正』の観点から理由も考え、グループで話し合う活動が『みんなでチャレンジ』の『多数決について考えよう』に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、『私の提案「自分を変える、社会を変える」をつくろう』の作成の際の参考として『持続可能性を妨げる主な課題』が例示されている。また、『私の提案』を活用し対話交流をする活動が設けられている。
帝国	主体的・対話的で深い学びについて、『アクティブ公民』の『自分が住むまちのまちづくりを考えよう』において、身近なテーマである自分のまちについて、どのようによりよくしていくのかを考える活動が設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、様々な立場の意見をふまえて、話し合う活動が『チャレンジ公民』の『地球温暖化に対する政策について考えよう』に設定されている。
自由社	主体的・対話的で深い学びについて、学習内容を活用して、自分たちのお店を作るための『企画書』を作成する活動が『アクティブに深めよう』の『お店を出店しよう』に設定されている。
育鵬社	主体的・対話的で深い学びについて、これまでの学習内容を生かしながら、ライフプランを立て自分の未来について考える活動が『やってみよう』の『人生をデザインしよう』に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、理科の『地震に備えるために』や保健体育科の『自然災害による傷害の防止』、道徳科の『安全で健康な生活』と関連した『東日本大震災からの復興と防災』という題材が『もっと公民』に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、技術・家庭科(家庭分野)の『住生活と自立』や理科の『情報化社会』、小学校の社会『未来とつながる情報』と関連した『急速に進展する情報社会』という題材が設定されている。
帝国	カリキュラム・マネジメントについて、小学校の理科や、地理的分野の学習と関連した『地球規模で広がる環境問題』という題材が設定されている。また、『裁判の判決を考えよう』において『裁判を傍聴してみよう』で裁判所の活用について示されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、地理・歴史的分野と関連して『グローバル化による社会の変化』について考える題材が設定されている。また、技術・家庭科(家庭分野)と関連させた『消費を通じた社会への意思表示』が掲載されている。
自由社	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した地球環境問題の解決のために国際社会が取り組んでいることについて考える活動が『地球環境問題と国際協力』に設定されている。
育鵬社	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した地球温暖化を防止するために、家庭でできることを考える課題が『やってみよう』の『家庭でできるCO ₂ 排出量削減の取り組み』に設定されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、小集団での参加型学習による対話的な活動として、『みんなでチャレンジ』で『模擬裁判をやってみよう』や『決まりについて考えよう』などの題材が設定されている。
教出	言語能力の育成について、ディベートを用いた言語活動による『「新しい人権」を考える』という題材で、テーマ学習が、特設ページ『言葉で伝え合おう』に設けられている。
帝国	言語能力の育成について、『裁判の判決を考えよう』という題材で、論理的な説明と合意形成を目指す議論を中心としたテーマ学習が、特設ページ『アクティブ公民』に設けられている。
日文	言語能力の育成について、『道路の拡張計画について考えよう』という題材で、社会の課題について考えるテーマ学習が、特設ページ『チャレンジ公民』に、設けられている。
自由社	言語能力の育成について、『グローバル化によって私たちの生活はどう変わったか、考えてみよう』という題材で小集団で話し合う言語活動が、特設ページ『アクティブに深めよう』に設けられている。
育鵬社	言語能力の育成について、『新聞の社説を比べてみよう』という題材で、ディベートを行う言語活動が、特設ページ『やってみよう』に設けられている。また、毎時間、学習のまとめに話し合う活動が設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化の継承・保存に取り組む中学生の写真が『伝統文化と新たな文化の創造』に掲載されている。また、継承・保存するためにできることについて考える活動が設定されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、有形・無形の伝統文化に関連する写真が『伝統文化の継承と文化の創造』に掲載されている。また、世界に発信したい日本の文化について考え意見を交流する活動が設定されている。
帝国	伝統や文化に関する教育の充実について、これまで受け継がれてきた地域の伝統芸能である『大鹿歌舞伎』を演じている中学生の写真が『日本の伝統と文化』に掲載されている。また、外国における日本文化の博覧会の写真も掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統的な年中行事や、料理を代表とした地域文化の多様性、音楽に見られる伝統文化を現代の社会に生かす様子などの写真が『日本の伝統文化の特徴と多様性』に掲載されている。
自由社	伝統や文化に関する教育の充実について、世界で一番古い企業を紹介する写真が『文化の継承と創造』に掲載されている。また、巻末に、日本各地の伝統工芸品の写真が掲載されている。
育鵬社	伝統や文化に関する教育の充実について、年中行事を紹介する写真が『日本の伝統文化』に掲載されている。また、フランスと日本の庭園の写真を比較して、日本人の自然観について考える活動が設定されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、市の課題や市民の声をもとに、ステップチャートを活用して条例案を作る活動が『まとめの活動』の『S市の市長になって条例を作ろう』に設定されている。
教出	体験活動の充実について、裁判員に選ばれたときにどのような動きや判断をするのかについてのシミュレーションが『言葉で伝え合おう』の『もしも裁判員裁判に参加したら』に掲載されている。
帝国	体験活動の充実について、これまでの学習内容を盛り込むかたちで自分が起こしたい企業の企画書について作成する活動が『アクティブ公民』の『企業の企画書を完成させよう』に設定されている。
日文	体験活動の充実について、裁判員裁判の手順を把握するとともに、記載された証言例をもとに判決する活動が『明日に向かって』の『裁判員裁判シミュレーション』に設定されている。
自由社	体験活動の充実について、班のメンバーと対話的な学習を通して、出店するお店の事業内容を決める体験的な活動が『アクティブに深めよう』の『お店を出店しよう』で設定されている。
育鵬社	体験活動の充実について、被告人が有罪か無罪かを、検察官と弁護人の主張をもとに、グループで評議する体験的な活動が『やってみよう』の『裁判員になって判決を考えよう』に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、各単元（章）の章扉に、小学校で学習した内容を用語や写真で振り返るページが設けられている。また、小学校で扱っている資料についてはマークで示されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、各見開きページの左下脚注部に『小学校世界の中の日本（6年）』などに関連した学習内容が表記されている。また、巻頭の『公民で学ぶ主な内容と学習の見通し』で小学校社会科との関連が示されている。
帝国	学校段階間の円滑な接続について、部や章の冒頭にある『学習の前に』の見開き右上に『小学校との関連』が記載されている。また、巻頭の『公民的分野の学習の全体像を見通そう』で小学校社会科が位置付けられている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、各編の冒頭にある『学習の始めに』において、左下脚注部に『小学校6年日本国憲法の基本的な考え方や日本政府のはたらきを振り返りましょう』などと記載されている。
自由社	学校段階間の円滑な接続について、『私たちと地域社会』において、『公共の精神』について考える際に、小学校で関わっていた地域ボランティアの方を想起させる写真が掲載されている。
育鵬社	学校段階間の円滑な接続について、『教科書の基本構成』において小学校社会科で学んだことが現代社会の学習につながるということが記載されている。また、各章の扉ページにおいて、小学校で学習した関連内容が紹介されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、掲載されている資料に、『集める』『読み取る』『まとめる』マークが示されており、情報を収集し、分析し、まとめる活動が設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、『メディアが報じる「事実」は「真実」か』や『ソーシャルメディアの影響力』など、情報を入手し、活用する際の留意点や課題について読み取る資料が、『メディアリテラシーを学ぼう』に掲載されている。
帝国	情報活用能力の育成について、テレビやインターネットにない新聞の特徴が示されており、実際の新聞記事から事実と意見を区別する活動が『新聞について知ろう』に設定されている。
日文	情報活用能力の育成について、情報を収集し、読み取り、まとめる際に必要な知識・技能、留意点などについて『情報スキルアップ』の『統計とグラフを使いこなそう』に掲載されている。
自由社	情報活用能力の育成について、同じ日付の各新聞社の記事を読み比べ、各新聞社がどのように報じているかを話し合い、比較し、まとめる活動が『新聞を読み比べてみよう』に設定されている。
育鵬社	情報活用能力の育成について、写真や地図などの資料を読み取り、話し合う活動が『身近な祭りを調べてみよう』に設定されている。また、冒頭のページに主なマスメディアの特徴について掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、資料には見開きで通し番号が付けられ、本文には、対応する資料番号が表記されている。また、本文と資料掲載部分が色分けされている。
教出	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、各章の冒頭に『学習のはじめに』を設け、章の学習内容と『学習の見通し』が示されている。また、キャラクターの吹き出しが文節で改行されている。
帝国	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、各章の冒頭に社会の様子イラストが示されている。また、本文に関連する資料番号や関連する事項を扱うページ番号が表記されている。
日文	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、学習内容が見開きで構成され、挿絵や写真などの資料に通し番号が付けられている。資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページが挿入されている。
自由社	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、各単元の重要語句はゴシック体（太字）で表記されている。また、補足説明の必要な箇所には番号が振られ、欄外に用語解説が設けられている。
育鵬社	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、見開きで挿絵や写真などの資料に番号が付けられている。資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページ（赤）が挿入されている。

⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	『導入の活動』において、『章の学習を貫く探究課題』、探究課題を解決する方法が取り上げられた『探究のステップ』が掲載されている。
教出	章末の『学習のまとめと表現』では、章の学習内容を確認する問いが設定されているとともに、考えたことについて意見を交流する活動が設定されている。
帝国	各章の冒頭に『章の問い』、節ごとに『節の問い』、各見開きページに『学習の課題』が示されている。また、毎時間の終わりに『確認しよう』『説明しよう』という構成がすべての章において統一されている。
日文	各編において、冒頭に『学習の初めに』が、2～4編（章）末に学習内容や『見方・考え方』を活用して課題解決を図る『チャレンジ公民』がそれぞれ設定されている。
自由社	各章の扉ページに『どのような道りを経て立憲民主国家になったのであろうか』のように章を通して考える活動が示されている。また、毎時間の学習内容を確認する『ここがポイント！』が設定されている。
育鵬社	各章の導入に学習内容が示された『入り口』が、章末には『入り口』で示された課題を受けて、その章で学んできた見方・考え方を生かして取り組む『これから』と『学習のまとめ』が設定されている。
⑯ 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、『見方・考え方』というイラストを目印に枠囲みで示されている。また、見方・考え方を活用する課題が、章末の『まとめの活動』に設定されている。
教出	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、各章の『学習のはじめに』において、その章で活用する『見方・考え方』が示され、各見開きページでは、その『見方・考え方』を活用して取り組む課題に見方・考え方を表すマークが付けられている。
帝国	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、『やってみよう』で問いを示し、考える活動が『アクティブ公民』に設定されている。また、その課題を解決するのに必要な見方・考え方が『関連ページ』として枠で囲まれ記載されている。
日文	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、本文ページに、『見方・考え方』が学習課題とともに示されている。また、『見方・考え方』を用いる『アクティビティ』や『深めよう』が設定されている。
自由社	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、『「世界の核兵器の現状」の資料を見て、この現状に日本はどのように向き合っていくべきか』というテーマで話し合う活動が『やってみよう』に設定されている。
育鵬社	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、意見が対立した場合に、合意を得るための話し合いの進め方を事例をもとに考える課題が、『やってみよう』の『昼休みのグラウンド使用について考えよう』に設定されている。
⑰ 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	
東書	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、経営者・客・店員のそれぞれの視点で、出店先を考え、意見の交流をする活動が『私たちの暮らしと経済』の『コンビニエンスストアの経営者になってみよう』に設定されている。
教出	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、ごみ収集所を設置するにあたって、住民のそれぞれの立場に立った意見を出し合い提案書を作成する活動が『私たちがつくるこれからの社会』で設定されている。
帝国	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、自分の考えを整理して書き出すとともに、意見交換を行う中で、他者の見方・考え方を取り入れる活動が各章の最後の『章の学習を振り返ろう』に設定されている。
日文	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、『日本の議院内閣制とアメリカの大統領制』の仕組みの違いや二つの制度を民主主義の観点から良い点と悪い点をまとめる活動が『内閣のしくみと議院内閣制』の『アクティビティ』で設定されている。
自由社	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、グローバル化による生活の変化を様々な視点から考察し、意見交換をしながらまとめていく活動が『アクティブに深めよう』や『もっと知りたい』『宗教とは何だろう』などに設定されている。
育鵬社	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、キャッシュレス化による消費者や事業者、公共的観点からなど、それぞれの立場でのメリット、デメリットが『家計と経済』の『キャッシュレス社会の到来』に示されている。
⑱ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	課題を追究・解決する活動について、章を通して考える『探究課題』、毎時間の『学習課題』、節ごとの『探究のステップ』、単元の最後の『まとめの活動』と4段階で構成されている。
教出	課題を追究・解決する活動について、学習の見通しを記載し、章全体をとおしての『問い』が各章の『学習のはじめに』に提示されている。また、冒頭で提示された『問い』に対して答える活動が章の最後に設定されている。
帝国	課題を追究・解決する活動について、レポート作成の課題が『課題の探究』として設定されている。レポートの作成にあたって、『ウェビングマップ』での課題の決定方法や資料収集の仕方、まとめ方など、作成段階ごとの説明が掲載されている。
日文	課題を追究・解決する活動について、レポート作成の『ヒント』や『参考資料の書き方』、『発表のポイント』などが『私たちの課題』に掲載されている。また、『もしも行き詰ってしまったら』が示されている。
自由社	課題を追究・解決する活動について、『持続可能な日本社会を作るために私たちは何ができるか』というテーマで、卒業論文を作成する活動が設定されており、作成のための手順が『課題の探究』に示されている。
育鵬社	課題を追究・解決する活動について、『社会科のまとめ』において、ウェビングマップを活用してテーマを決める手法が掲載されており、課題探究が示された『調査の手順と方法』と『整理とまとめの方法』が掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『現代社会と私たち』『個人の尊重と日本国憲法』『現代の民主政治と社会』『私たちの暮らしと経済』『地域社会と私たち』『より良い社会を目指して』の全6章で構成されている。
教出	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『私たちの暮らしと現代社会』『個人を尊重する日本国憲法』『私たちの暮らしと民主政治』『私たちの暮らしと経済』『安心して豊かに暮らせる社会』『国際社会に生きる私たち』『私たちが未来の社会を築く』の全7章で構成されている。
帝国	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『現代社会と文化』『現代社会をとらえる枠組み』『日本国憲法』『民主政治』『市場経済』『財政』『国際社会』『課題の探究』の全8章で構成されている。
日文	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『私たちと現代社会』『私たちの生活と政治』『私たちの生活と経済』『私たちと国際社会』『私たちの課題』の全5編で構成されている。
自由社	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『現代日本の自画像』『個人と社会生活』『立憲国家と国民』『日本国憲法と立憲的民主政治』『国民生活と経済』『国際社会に生きる日本』『持続可能な社会を目指して』の全7章で構成されている。
育鵬社	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『私たちの生活と現代社会』『私たちの生活と政治—日本国憲法の基本原則—』『私たちの生活と政治—民主政治と政治参加—』『私たちの生活と経済』『私たちと国際社会の課題』の全5章で構成されている。
⑳ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA B判が採用されている。
帝国	判型はA B判が採用されている。
日文	判型はA B判が採用されている。
自由社	判型はA B判が採用されている。
育鵬社	判型はA B判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
帝国	『特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルフォントを採用しています。』と表記されている。
日文	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
自由社	『各単元の重要語句はゴシック(太字)になっています。』『ゴシックにした重要語句は、すべてこの教科書の最後にあるさくいんに登録されています。』と表記されている。
育鵬社	編修趣意書には『図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示の工夫により、生徒が見やすいように配慮しました。』『ふりがなにはゴシック体を用い、小さな文字が読み取りにくい生徒も読みやすいように配慮しました。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	11ページ 工場長を務める日系ブラジル人（神奈川県座間市 2017年）の写真 111ページ かわさき市民アンケート報告書（神奈川県川崎市 平成29年度）のグラフ 149ページ 工場で働く障がいのある人たち（神奈川県川崎市）の写真と記事 巻末ページ 世界最高齢のアプリケーションの開発者（神奈川県藤沢市 2017年）の写真
教出	23ページ ハロウィンのパレード(2018年 神奈川県川崎市)の写真 47ページ 全国で初めて、公務員試験から国籍条項をはずした自治体（神奈川県川崎市）の記事 49ページ 韓国・朝鮮の伝統芸能を披露する人々（神奈川県川崎市）の写真と記事 74ページ 日本にある主な米軍基地（神奈川県厚木市・横須賀市・座間市）の地図 119ページ 歳入に占める地方税の割合と地方交付税の割合の比較（神奈川県）のグラフ 121ページ 神奈川県川崎市の「外国人市民代表者会議」のしくみ 121ページ 外国人市民代表者会議による会見（2011年 神奈川県川崎市）の写真 122ページ 市民の苦情を調査する市民オンブズマン（神奈川県川崎市）の写真と記事 127ページ フリーマーケットで消費税について学ぶ子どもたち(2015年 神奈川県横浜市)の写真 136ページ 神奈川県横須賀市の自動車工場の写真 141ページ 「ランドセルは海を越えて」キャンペーン(2018年 神奈川県横浜市)の写真と記事
帝国	巻頭1ページ 小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星への着地に成功したことの記者会見(神奈川県相模原市 2019年)の写真と記事 98ページ 解説オンブズマン（神奈川県川崎市）の記事 120ページ 移動販売を利用する高齢者(神奈川県)の写真と記事 127ページ 普及が進む電気自動車(神奈川県横浜市)の写真と記事 138ページ 障がいがあっても働ける場を(神奈川県川崎市)の写真と記事 154ページ 「先輩たちの選択」酪農家(神奈川県伊勢原市)の写真と記事 197ページ 多摩川流域での環境への取組（神奈川県川崎市）の記事 198ページ 「SDGs未来都市」を目指して(神奈川県横浜市)の写真と記事
日文	15ページ エネルギーの地産地消（神奈川県小田原市）の写真と記事 18ページ 小惑星探査機「はやぶさ2」の小惑星リュウグウへの着陸が成功したことの発表(2019年 神奈川県相模原市)の写真 23ページ 春節(神奈川県横浜市)の写真と記事 24ページ 学校(神奈川県横浜市)の写真 112ページ 人工知能（AI）の活用（神奈川県横浜市）の写真と記事 115ページ 体育巡業授業(2018年 神奈川県寒川町)の写真と記事 207ページ プラスチックによる海洋汚染に立ち向かう(神奈川県)の写真と記事 214ページ 視覚に障がいがある人のための防災マップ（2018年 神奈川県横浜市）の写真と記事
自由社	40・41ページ 魅力あるまちづくりについて考えようでの相模たこ揚げ大会（神奈川県相模原市）の記事 56・57ページ 鎌倉幕府（神奈川県鎌倉市）に関する資料と記事 159ページ 「ヨコハマ3R夢（スリム）プラン」の記事 193ページ 在日アメリカ軍の配置図（神奈川県座間市・厚木市・横須賀市）の地図
育鵬社	20ページ 7月七夕 湘南ひらつか七夕まつり(神奈川県平塚市)の写真 22ページ 東日本大震災の義援金を募る横浜中華街の人々(神奈川県横浜市)の写真と記事 50ページ キャンプ座間の一部返還の跡地に開設した座間総合病院(神奈川県座間市)の写真と記事、 50ページ 日本各地に駐留する在日米軍と日本のミサイル防衛（神奈川県 横須賀 武山 厚木） 60ページ ある中学校でのトイレの案内板（神奈川県横浜市）の写真 87ページ 子どもの権利に関する条例（神奈川県川崎市）の記事 107ページ 日本初の近代水道（神奈川県横浜市）の写真と記事 131ページ 障がい者雇用を長年続けている日本理科学工業（神奈川県川崎市）の写真と記事 164・171ページ 食品リサイクル会社に持ち込まれた食品(2016年 2019年 神奈川県相模原市)の写真と記事 200ページ 水素エネルギー活用による「水素社会」の実現(神奈川県横浜市)の写真と記事 201ページ SDGs未来都市のモデル事業の（神奈川県横浜市・鎌倉市）地図

② URL、二次元コード等の掲載の有無	
発行者名	
東書	有
教出	有
帝国	有
日文	有
自由社	無
育鵬社	有

③ 一冊ごとの重量(g)					
発行者名	冊数	重量(g)			
東書	1	514			
教出	1	529			
帝国	1	489			
日文	1	519			
自由社	1	554			
育鵬社	1	505			